

## 次号予告

### 特集 まちづくり・基盤整備とOR

合意形成問題に関する一考察：フレーミング効果と社会的最適化の限界 ……藤井 聡（東京工業大学）  
住民参加における住民の態度の表明とその解釈に関する一考察 ……谷本圭志（鳥取大学）  
Quality of Life をどのようにORで考慮していくべきか—政策の運営と評価へのQOLの適用—  
……………土井健司（香川大学）、紀伊雅敦（運輸政策機構）、中西仁美（香川大学）  
かしこい車の使い方を旨としたトラベル・フィードバック・プログラムの試み  
……………谷口綾子（北海道開発センター）、高野伸栄（北海道大学）、原文宏（北海道開発センター）  
ORのはさみでフレックス通勤問題を切る ……吉村充功（日本文理大学）、奥村 誠（広島大学）  
文通ネットワークにおける段階的整備プロセスの最適化 ……松中亮治（岡山大学）

### 編集後記

●今年度より、編集委員を務めさせていただくことになりました。入社して初めてORの世界に足を踏み入れたということもあり、読者の方々や他の編集委員の方に比べるとはるかに無知な私ですが、その分新鮮な目でORの世界を眺め、より魅力ある機関誌するために新風を吹き込めるよう微力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●今月の特集は、「ブランド価値のモデル化に向けて」です。“ブランド”と聞くと、高級ブランドのバッグやアクセサリを想像する女性が多いのではないのでしょうか。なぜ同じような素材で同じようなバッグなのにこれほど値段が違うのか。そうどこかで疑問に思いつつも欲しくなってしまう心理。まさしく、目に見えない価値がそこに存在し、それにお金を支払っているのです。その見えない価値が数値化され見えるよ

うになったら現在の高級ブランド品の値段は、どのように変化するのでしょうか。

●男性に比べて女性は、目に見えないものを見る能力に長けているとどこかで読んだことがあります。ビジネスの世界でも、目に見えないサービス・価値に敏感なのは女性なのだそうです。女性が高級ホテルや高級ブランド品を好むのも、そのせいかもしれません。

●女性に限らず、人間はいつの時代も「目に見えないものを見る」というロマンを追い続けているのではないのでしょうか。過去の研究者の努力により、たとえばX線や磁気によって体の中を自由に見ることができるようになり、細胞の中の核に存在するDNAに至るまで可視化することに成功しました。今後ORが「目に見えないものを見る」というロマンにどのように貢献できるのか。夢は膨らみますね。（井階美歩）

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆(国土館大学)

委員 井階美歩(株)NTT データ、池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大村弘之(日本電信電話(株))、岡田 勇(創価大学)、小沢利久(駒澤大学)、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス(株))、所 健一(財電力中央研究所)、中川義之(キヤノンシステムソリューションズ(株))、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(株)東芝、矢田 健(日本電信電話(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成 15 年 10 月号 第 48 卷 第 10 号 通巻 514 号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円（本体 924円）年間予約購読料 11,040円（税含）

### ●本誌への広告お申し込みは明報社（3546-1337）へ